

## 中国大学生における性格特性が学校適応感に影響するプロセス

—とりあえず進学を中心として—

○王彤鶴<sup>1</sup>・上市秀雄<sup>2</sup>(<sup>1</sup>筑波大学大学院システム情報工学研究群・<sup>2</sup>筑波大学システム情報系)

キーワード：大学生，性格特性，学校適応感

The Process By Which Personality Traits Affect School Adjustment Among Chinese University Students

- Focus on students who are enrolled without a specific purpose or career goal-

Tonghe WANG<sup>1</sup>, Hideo UEICHI<sup>2</sup>(<sup>1</sup>Degree Programs in System and Information and Engineering, University of Tsukuba,<sup>2</sup> Faculty of Engineering, Information and Systems, University of Tsukuba.)

Key Words: Collage students, Personality characteristic, School adjustment

## 目 的

中国では、大学新入生の数は年々増加しており、それに伴い大学生の学校不適応問題も段々顕著になっている。その原因の一つにはとりあえず進学する学生が増加しているためと考えられる(青木, 2021)。

これまでの研究では、とりあえず進学が学生の学業および人間関係に悪影響を及ぼすと分かったが、とりあえず進学に関連する他の要因は十分に検討されていない。そこで本研究では中国の大学生を対象として、とりあえず進学に影響を与える要因を検討し、とりあえず進学と学校適応感の関係を明らかにする。

## 方 法

対象者 中国の大学に在籍している大学生 502 名 (985/211 大学学生 138 名, 一般大学学生 174 名, 専門学校学生 190 名; 理系学生 238 名, 文系学生 158 名, その他専攻学生 106 名) に対し, 2023 年 11 月上旬に Web 調査を実施した。

質問項目 **基本属性** (学校ランク、専攻)、**性格特性 25 項目** (王, 2011) (情緒不安定性 5 項目: よく恐れを感じる, 誠実性 5 項目: 計画性のある, 調和性 5 項目: ほとんどの人は基本的に善意だと思う, 開放性 5 項目: リスクを冒すのが好きだ, 外向性 5 項目: 活発である), **とりあえず進学 3 項目** (大学で学びたいことが特になかったが, その大学に進学した), **とりあえず進学理由 23 項目** (川口&堀川, 2017) (目標探究 6 項目: 自分の得意なものを見つけるため, 他者依存 4 項目: 親が喜ぶから, モラトリアム 5 項目: 他のやりたいことがなかったから, 身分の保証 8 項目: 高卒だと選択肢が狭いと思うから), **学校生活 19 項目** (大久保, 2004) (教師との関係 6 項目: 先生は自分の相談に乗ってくれる, 友人との関係 7 項目: 友達と一緒にいると楽しい, 学業 6 項目: 一生懸命勉強している), **進学後悔 15 項目** (Lee & Cotte, 2009) (選択による後悔 4 項目: 他学校・他学科を選んだほうが良かった, 重要性による後悔 3 項目: この学位は必要がないので, 後悔している, 考え不足 4 項目: もっとよく考えればよかった, 考えすぎ 4 項目: 私は進学に対する決断をするのに多くの努力を費やした), **学校適応感 28 項目** (大久保, 2005) (居心地の良さ 9 項目: 周囲に溶け込んでいる, 課題・目的的存在 7 項目: 将来役に立つことが学べる, 信頼感・受容感 6 項目: 周りから頼りにされていると感じる, 劣等感の無さ 6 項目: 周りに迷惑をかけていると感じる)。上記項目は 5 件法 (1. 当てはまらない~5. 当てはまる) で評定した。

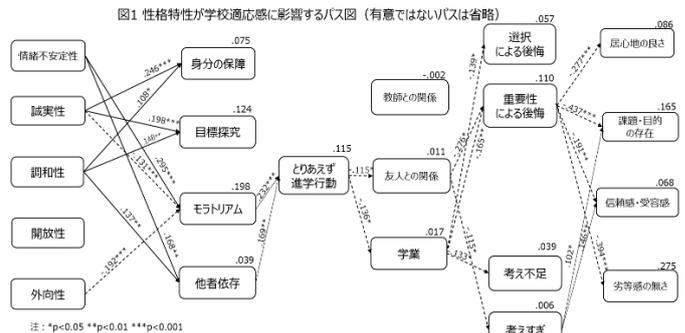
## 結 果

**とりあえず進学の学校別・学科別差** 学校ランク別・学科別によるとりあえず進学の差を明らかにするため, 分散分析を行った。その結果, とりあえず進学は学校ランク別・学科別の間に有意差は見られなかった。

**とりあえず進学の程度による差異** とりあえず進学が学生の学校生活, 進学後悔, 学校適応感に与える影響を明らかにするため, *t* 検定を行った(表 1)。その結果, とりあえず進学高群における学校生活の「学業」, 学校適応感の「課題・

表1 とりあえず進学高・低群による各因子の *t* 検定の結果

	とりあえず進学高群		とりあえず進学低群		p値	t値
	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差		
<b>学校生活</b>						
教師との関係	3.322	.893	3.331	.906	.908	.116
友人との関係	3.697	.793	3.762	.837	.370	.897
学業	3.227	.793	3.391	.830	.025	.241*
<b>進学後悔</b>						
選択による後悔	2.907	1.167	2.510	1.076	.000	-3.902***
重要性による後悔	2.375	.986	1.929	.927	.000	-5.154***
考え不足	2.901	1.012	2.561	1.124	.001	-3.503**
考えすぎ	2.799	1.048	2.434	1.093	.000	-3.792***
<b>学校適応感</b>						
居心地の良さ	3.561	.745	3.880	.837	.371	.895
課題・目的的存在	3.744	.736	4.150	.748	.007	2.690**
信頼感・受容感	3.494	.917	3.591	.933	.243	1.168
劣等感の無さ	3.468	.978	3.799	.944	.000	3.805***



目的的存在」「劣等感の無さ」の平均値は, とりあえず進学低群より低いことが分かった。とりあえず進学高群における進学後悔の平均値は, とりあえず低群より高いことが分かった。

**パス解析** とりあえず進学に与える影響を明らかにするため, パス解析を行った(図 1)。その結果, (1)調和性と情緒不安定性の高い学生はモラトリアムと他者依存を通じて, とりあえず進学する傾向性が強いこと, (2)とりあえず進学は学生の友人との関係と学業に負の影響を与えること, (3)友人との関係と学業上の不順は進学に後悔を生じやすいこと, (4)進学後悔は学生を学校不適応に導くことが分かった。

## 考 察

これらのことから, (1)学生の性格と進学理由はとりあえず進学に影響を与える。また, とりあえず進学した学生は(2)入学後の成績が悪い, (3)進学に対する後悔が強い, (4)学校で目的を持っていない, 劣等感を感じやすいことがわかった。よって, とりあえず進学を回避させるためには, 学生の性格特性を考えた上, 進学の意義や目的に関する進路教育支援策を実施する必要があるといえる。

## 引用文献

Kural, A. I., & Özyurt, B. (2023). Why some students adjust easily while others can not? Stress and adjustment to university: Personality as moderator. *Journal of College Student Retention: Research, Theory & Practice*, 25(3), 594-612.